



ALLIANCEBERNSTEIN®

知の広場
Knowledge Forum

カーボンハンドプリント

炭素排出をどれだけ回避したか？気候変動の改善に着目した新しいアプローチ



2022年4月18日



デビッド・ウィーラー

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

サステナブル気候ソリューション株式運用 ポートフォリオ・マネジャー

サステナブル・グローバル・テーマ株式運用 シニア・リサーチ・アナリスト



ダン・ロアティ

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

サステナブル・グローバル・テーマ株式運用 最高投資責任者



【知っておきたいこと】

投資先の企業が気候変動リスクの解決に向けてどれだけ役に立っているのかを見る上で、注目が高まっているのがカーボンハンドプリントだ。カーボンハンドプリントは、その企業の製品を使用することによってどの程度炭素の排出を防いだかを測定するもので、企業の事業ファンダメンタルズへの評価と合わせて活用できる。銘柄選別においてこの手法を用いることで、優れた長期リターンを生み出すとともに、環境問題に寄与するポートフォリオを構築することができる。アライアンス・バーンスタイン(以下、AB)では考えている。

ホワイトペーパーを読む(英語)

当資料は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーのCONTEXTブログを日本語訳したものです。オリジナルの英語版は[こちら](#)。

本文中の見解はリサーチ、投資助言、売買推奨ではなく、必ずしもアライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)ポートフォリオ運用チームの見解とは限りません。本文中で言及した資産クラスに関する過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料は、2022年3月28日現在の情報を基にアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが作成したものをアライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳した資料であり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。また当資料の記載内容、データ等は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。当資料中の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。アライアンス・バーンスタイン及びABはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

4兆3,000億米ドル

2050年までにネットゼロの世界を実現するために、2030年時点で必要な世界の年間投資額の試算(IEA調べ)

60%

電気自動車導入による二酸化炭素排出量の削減幅
(同種の内燃機関自動車と比較)

2,480万トン

2020年に導入されたヴェスタス製風力発電装置の使用により、今後20年間で毎年削減される二酸化炭素排出量

投資家は、気候変動対策への取り組みを強化している。しかし、気候変動に焦点を当てたファンドへの資金流入が加速するにつれ、これらのポートフォリオの投資アプローチについて、より多くの疑問が投げかけられている。

気候変動に配慮したポートフォリオでは、実際、どのような企業が保有されているのだろうか。炭素排出の指標だけを見て、その企業の環境への影響を完全に評価できるのだろうか？また、気候変動に焦点を当てたファンドは、脱炭素社会の実現に向けたグローバルな取り組みにどのように貢献するのだろうか？

投資家は多くの場合、簡単な指標を使って、どの企業が気候変動との戦いにおいて重要な役割を示すのかを測ろうとする。企業の環境影響を評価する最も一般的な指標は、事業活動から発生する温室効果ガス(GHG)の総排出量であるカーボンフットプリントである。しかし、カーボンフットプリントは、企業の影響のすべてを語るものではなく、ときに誤解を招く可能性もある。低炭素社会への移行を促進するために、企業にはカーボンフットプリントのデータには表れないさまざまな方法がある。また、企業が単に二酸化炭素排出量を削減するだけでは、気候変動への取り組みには役立たないケースもある。

では、どうすれば投資家は、自らの資金が気候変動リスクへの対応に本当に役立っている企業に投資されていると確信できるのだろうか。ABでは、企業のカーボンフットプリントだけに注目するのではなく、企業のカーボンハンドプリントに目を向けるべきだと考えている。カーボンフットプリントが、企業の事業活動が環境に与えるマイナスの影響を測定するのは対照的に、カーボンハンドプリントは、企業の製品を使用することによって回避される炭素の量、つまりプラスの影響を測定する。これらの製品は、企業が生み出す地球規模の気候変動問題に対するポジティブな解決策を表している。クリーンエネルギー、リサイクル、輸送、エネルギー効率など、カーボンハンドプリントの大きい企業群が、世界の気候危機の解決に大きく貢献しているのだ。

カーボンハンドプリントの活用

カーボンハンドプリントを定量化する方法はさまざま。しかし方法にかかわらず、農業、クリーンエネルギー、輸送、エネルギー効率などあらゆる気候変動解決策において、炭素排出がどれだけ回避されたかという指標が、分析の出発点となる。

この指標は、カーボンハンドプリントを特定し、評価するためのレンズとなる。例えば、クリーンエネルギー企業はゼロカーボンエネルギーの生成量で判断される一方、エネルギー効率化を手掛ける企業は他の企業や事業体のエネルギーを節約する能力でランク付けされる。

このホワイトペーパーでは、カーボンハンドプリント分析に関するケーススタディを紹介する。フランスの多国籍企業であるシュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、産業施設などの排出量を削減するためのエネルギー管理システムを提供している。これらの技術により、同社は2020年に4,500万トンの二酸化炭素排出を回避した。これは同社の同年の排出量の85倍に相当する(次ページの図表)。デンマークの風力タービンメーカーであるヴェスタス・ウィンド・システムズは、2020年の製造工程で7万3,000トンの二酸化炭素を排出したが、今後20年間、同社の顧客が毎年その45倍の炭素排出量を削減できるようにする予定だ。

回避された炭素に関する開示は、まだ業界標準とはなっていない。そのため、投資家は、気候変動対策によって回避された炭素の量を理解するのに、企業の報告書や第三者の格付機関に頼ることができない。経営陣と積極的にエンゲージメントを行い、独自のリサーチを行うことで、投資家は企業のカーボンハンドプリントを正確かつ納得のいく形で測定するために必要な情報を得ることができるとABでは考える。明確なカーボンハンドプリントの指標を確立することで、投資家は、企業が気候変動との戦いにどのように貢献しているのか、またその貢献度が時間とともにどのように変化しているのかを評価することができる。

【図表】 カーボンハンドプリントで真の気候変動ソリューションを見つけ出す
カーボンフットプリントに対するカーボンハンドプリントの割合



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。
シュナイダーエレクトリック: エネルギーの管理及びオートメーション製品によるエネルギー効率の節約によって2020年に回避される4,500万トンの二酸化炭素排出量と、2020年に排出される52万7,000トン(スコープ1、2、3)との比較。ヴェスタス・ウインド・システムズ: 風力タービンが耐用年数中に回避する炭素と、風力タービンの製造、輸送、設置の際に排出される炭素の比較。ネステ: 再生可能な輸送用燃料により、2020年に顧客が削減したGHG排出量1,000万トンと、ネステの2020年の炭素排出量290万メートル・トンとの比較。
2020年12月31日現在。出所: 各社報告書、AB

アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】 一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<https://www.alliancebernstein.co.jp>

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。特定の投資信託の取得をご希望の場合には、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、投資に関する最終決定はご自身で判断なさるようお願いいたします。以下の内容は、投資信託をお申込みされる際に、投資家の皆様に、ご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

● 投資信託のリスクについて

アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用する投資信託は、株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。リスクの要因については、各投資信託が投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をご覧ください。

● お客様にご負担いただく費用: 投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります

- 申込時に直接ご負担いただく費用 … 申込手数料 上限3.3%(税抜3.0%)です。
- 換金時に直接ご負担いただく費用… 信託財産留保金 上限0.5%です。
- 保有期間に間接的にご負担いただく費用… 信託報酬 上限2.068%(税抜1.880%)です。

その他費用… 上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アライアンス・バーンスタイン株式会社が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

ご注意

アライアンス・バーンスタイン株式会社の運用戦略や商品は、値動きのある金融商品等を投資対象として運用を行いますので、運用ポートフォリオの運用実績は、組入れられた金融商品等の値動きの変化による影響を受けます。また、金融商品取引業者等と取引を行うため、その業務または財産の状況の変化による影響も受けます。デリバティブ取引を行う場合は、これらの影響により保証金を超過する損失が発生する可能性があります。資産の価値の減少を含むリスクはお客様に帰属します。したがって、元金および利回りのいずれも保証されているものではありません。運用戦略や商品によって投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。また、ご投資に伴う運用報酬や保有期間中に間接的にご負担いただく費用、その他費用等及びその合計額も異なりますので、その金額をあらかじめ表示することができません。